

認知症になっても安心して暮らせる社会を

月刊 POLE-POLE (スワヒリ語)

2025 APRIL

No. 537

4

ぽ～れ ぽ～れ

ゆっくり やさしく おだやかに



「ぽ～れぽ～れ群馬県支部版」

わたぼうし

No.500

認知症の人と家族の会

理念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられなければならない。認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助け合って、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。

巻頭言

「認知症サポーター」事始め

2005 年に「認知症サポーター」が提案されて間もなく、キャラバンメイトとなり要請があれど講師役を務めています。先日、ある金融機関の新人社員研修の一環で役割を果たしてきました。

その際、数日前に「これこそ、サポーターに果たして欲しい役割！」と感じた朝日新聞の記事を目にしましたので講座の冒頭で紹介しました。（本誌 4 頁に抜粋で紹介しています）館林市の家を出て道に迷った高齢者が、翌日 40 キロ以上離れた栃木県鹿沼市で、遭遇した住民家族の機転により無事保護されたとの記事でした。住民家族が「養成講座」を受けていたか定かではありませんが、「サポーター」は、まさにこのように住民の生活の安全を守ることを目的に出発したと理解しています。

制度が始まって 20 年、認知症が早期に診断されるようになり、認知症の人の生活範囲は大きく広がっています。安全を守るだけでなく、より快適な生活を保障することが求められています。「サポーター」は 1500 万人を超えた言われますが、もっともっと増やしましょう。

目次

・ 巻頭言 「認知症サポーター」事始め	1 頁
・ 2025（令和 7）年度の予定	2 頁
・ 投稿 妻の母が旅立ちました	2 頁
・ 投稿 へわが家の認知症ケア手帳 ⑤	3 頁
・ トピックス 挨拶習慣不明 80 代救う	4 頁
・ 編集後記	4 頁

5 月の予定

- 5 月 10 日（土）伊勢崎つどい
10 時～12 時 伊勢崎市文化会館
- 5 月 11 日（日）渋川つどい
10 時～12 時 渋川市中央公民館
- 5 月 17 日（土）館林つどい
10 時～12 時 館林市中部公民館
- 5 月 25 日（日）県央つどい
10 時～12 時 県社会福祉総合センター 7 階 701 会議室

電話相談

◎群馬県支部（群馬県からの委託事業）

認知症の人と家族のための電話相談

027（289）2740

◎本部フリーダイヤル

0120（294）456

X(旧 Twitter)

やっています



2025 年度
年間の予定
（予定）

● 県央（前橋市） ●

○ 会場 ○

・群馬県社会福祉総合センター

・前橋市新前橋町 13-12

○ 日程 ○

（第 4 日曜日 10 時～12 時）

● 4 月 27 日（日）

● 5 月 25 日（日）

● 6 月 22 日（日）

● 7 月 27 日（日）

● 8 月 24 日（日）

● 9 月 28 日（日）

● 10 月 26 日（日）

● 11 月 23 日（日）

● 12 月 21 日（日）

● 1 月 25 日（日）

● 2 月 22 日（日）

● 3 月 22 日（日）

第 3 日曜日



● 渋川市 ●

○ 会場 ○

・渋川市中央公民館

・渋川市渋川 908-21

○ 日程 ○

（第 2 日曜日 10 時～12 時）

● 4 月 13 日（日）

● 5 月 11 日（日）

● 6 月 15 日（日）

● 7 月 13 日（日）

● 8 月 10 日（日）

● 9 月 14 日（日）

● 10 月 12 日（日）

● 11 月 9 日（日）

● 12 月 14 日（日）

● 1 月 11 日（日）

● 2 月 8 日（日）

● 3 月 8 日（日）

* 第 3 日曜日

認知症の人と家族のための

電話相談

- 月曜日～金曜日 10 時～15 時
- 年間 244 日開設
- いま家族として認知症の人を介護している、またはその経験がある相談員がお話を伺います。

● 桐生市 ●

○ 会場 ○

・桐生市総合福祉センター

・桐生市新宿 3-3-19

○ 日程 ○（偶数月）

（第 2 土曜日 10 時～12 時）

● 4 月 12 日（土）

● 6 月 14 日（土）

● 8 月 9 日（土）

● 10 月 11 日（土）

● 12 月 13 日（土）

● 2 月 14 日（土）



● 太田市 ●

○ 会場 ○

・太田市荳川行政センター

・太田市東長岡町 1853

○ 日程 ○（偶数月）

（第 3 土曜日 10 時～12 時）

● 4 月 19 日（土）

● 6 月 21 日（土）

● 8 月 16 日（土）

● 10 月 18 日（土）

● 12 月 20 日（土）

● 2 月 21 日（土）

投稿

妻の母が旅立ちました

田部井康夫

幾度かご紹介していた妻の母が旅立ちました。満 101 歳と 8 カ月でした。101 歳を過ぎても特に変わりなく過ごしていましたが、寒さに向かい次第に調子を落とすことが多くなってきました。年を越すのは難しいかと思われました。「お正月を迎えよう!」と、頻繁に面会を申し込み励まし続けました。

それでも元気は取り戻せず、施設から「点滴も入らなくなり、看取りケアに移行します」との説明を受け、死期が近いとの判断から、「夜中に臨終の場合、知らせは夜が明けてから」となりました。

妻はこうした経過の中で、少しずつですが母の死を受け入れる準備を整えていったように見えました。私は、娘の夫という立場ですのでそれを見守っているだけでした。

その後、私たちは大正 12 年生まれの時代背景、農業による肉体労働に鍛えられた体、難聴のある夫を前面に立て支えてきた気丈さ、そこから生まれた生命力を見せつけられることになりました。

●伊勢崎市●

○会場○

・伊勢崎市文化会館

・伊勢崎市昭和町 3918

○日程○（奇数月）

（第2土曜日 10時～12時）

●5月10日（土）

●7月12日（土）

●9月13日（土）

●11月8日（土）会場未定

●1月10日（土）

●3月14日（土）

●館林市●

○会場○

・館林市中部公民館

・館林市仲町14-2

○日程○（奇数月）

（第3土曜日 10時～12時）

●5月17日（土）

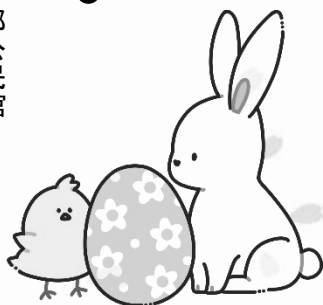
●7月19日（土）

●9月20日（土）

●11月15日（土）

●1月17日（土）

●3月21日（土）



群馬県支部総会のご案内

次の通り、2025年度の支部総会を開催します。

●日時…2025年5月25日（日）午後1時～3時

●会場…群馬県社会福祉総合センター7階701会議室

●参加者…会員の方はどなたでも参加することができます。

●議題…2024年度の活動報告、決算の承認

・2025年度の活動計画、予算の承認

・6月7日本部総会出席代議員の選出

（4月末日まで、代議員の立候補受付中です。立候補者を含め

支部総会で代議員3名を選定します）

公益社団法人本部2025年度総会のご案内

●日時…2025年6月7日（土）午後1時より ハイブリッド方式

●会場…京都市

●参加…代議員以外の方もオブザーバーとして参加できます。

群馬県支部 世界アルツハイマーデー（認知症の日）

記念講演とシンポジウム

「認知症の人と家族を支える支援とは…」

●日時…2025年9月21日（日）13:00～16:30

●…群馬県社会福祉総合センター 8階 ホール

●講演…荒井浩道教授 駒澤大学社会学部社会福祉学科

「ピアサポートとは その意義と実際」（仮）

公益社団法人支部代表者会議のご案内

●日時…2025年10月25日（土）13時～16時30分

●会場…北西学園大学 札幌市厚別区大谷地西2-3-1

●方式…参集、Zoom併用のハイブリッド方式

●なお、翌10月26日は、全国研究集会です。

●お問い合わせは、群馬県支部までお願いします。

妻の母は見事新年を迎えたのです。

こうなると、家族はさらに欲張りになり、次の頑張り目標を設定して面会に向かうようになります。次なる目標は3月の女系直系の私たち夫婦の娘の2番目の子の出産、つまり二人目のひ孫の出産でした。そして、妻の母はこの目的もクリアしたのです。さすがに直接会わせてあげることが出来ませんでした。ライン上で顔を合わせてあげることができました。

その間にも、妻の母の本当の命の限界は忍び寄っていたのです。4月に入り、呼吸をすること自体が苦しいと訴えるようになりました。ある意味では、この期間が短くはありましたが、母にも、見守る家族にとってももつともつらい時期だったかもしれません。

眠りと呼吸だけを保障する手立てはないか、夜が明けたら相談してみよう、と話し合って寝に就いた夜中の1時過ぎ、施設から「呼吸が止まった」との連絡が入りました。

呼吸する力も残らない、本当の意味での「老衰」で妻の母は旅立っていきました。

渡辺俊之のへわが家の認知症ケア手帳

59



渡辺医院院長（精神科医、当会顧問） 渡辺俊之

過日、愛知県岡崎市医師会の在宅医療サポートセンターが主催した講演会に講師として招かれました。司会の先生から「別居している家族が認知症の親を放置していますが、どうしたらよいでしょう」との質問を受けました。私は上手に答えられませんでした。「介護放棄」という言葉や「放置に至るまでの家族の歴史」などが頭に浮かびましたが、対応の妙案が浮かびません。介護放棄の背景には個別性があり、一般論では語れないからです。

私には苦い経験があります。一人暮らしの軽度認知症の女性が骨折したので息子に連絡したのですが、電話に出ないし、着信に返信もありません。「全く無責任な息子だ」と怒りが湧きました。しかし、後になって、息子家族全員がコロナ感染だったと知ったのです。認知症支援者は患者に肩入れするあまり、家族に否定的な感情を向けることがしばしばあります。支援者は家族

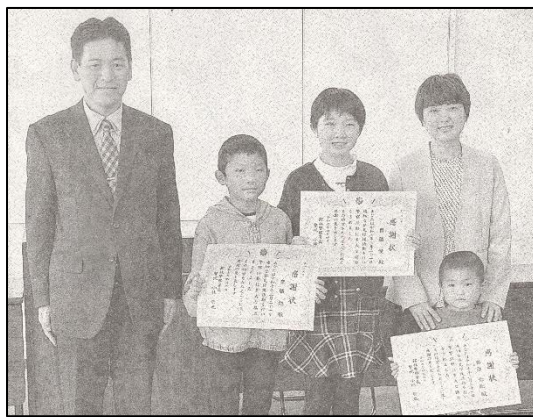
と良好な関係をつくらなければ、円滑なケアは始まりません。介護放棄に至った家族の歴史、現在の家族状況、介護への不安に耳を傾け、まずは家族の言い分を聞くことだと思います。

支援者や医療者との話し合いにも出てこない家族の場合には、介護放棄は法律違反になる恐れがあることを知ってもらうことです。民法では、父母ら直系血族や兄弟姉妹の扶養義務、夫婦の協力・扶助などを定めています。「親御さんの介護を放棄すると、法律違反になってしまいます。私たちも最善を尽くすので、介護を一緒にやっていきましょう」と伝えてみるのもよいかと思えます。



トピックス

あいさつ習慣 不明80代救う
「館林から」家族へつなぐ連携プレー
(4月10日付朝日新聞群馬版)



静かな山あいを高齢の男性が銀色の自転車を押しながらゆっくり歩いていた。(中略)

4月21日午後4時半頃ごろ、栃木県鹿沼市中粕尾。市内の中心部から20キロ以上も離れている。暮れ時を迎え、気温が下がり始め、風が吹いていた。

近くに住む看護師の斎藤佑紀さんと長女愛さん(12)、長男旭さん(10)はまたま近くにいた。

「こんにちは！」

地区のこどもたちは出会った人にあいさつするのが習慣だ。いつものように声を掛けると、男性も応じてくれたが、そのまま何も山奥の方へ向かおうとした。

「どこに行くんですか？」

無言のまま。様子がおかしいと感じ、さらに声を掛けた。「どこから来たんですか？」すると男性は、「館林」と答えた。館林市は40キロ以上も離れている。驚いた3人は何とかしなければとすぐに感じ取った。(中略) 男性は80代で、前日から行方が分からなくなり、家族が警察に届け出ていた。けがなどはなく無事に家族に引き渡された。(以下略)

(小幡淳一記者署名記事より抜粋)



編集後記

夕刻、前橋文学館に立ち寄った折、久しぶりに文学館前から臨江閣近くまで広瀬川遊歩道を歩きました。上にはしだれ柳が風にゆれ、下にはソメイヨシノの花びらが散り敷いて、とても良い風情でした。折がありましたら、皆さんもぜひどうぞ。
(田部井)